

### 環境調査結果のお知らせ

令和6年7月30日8時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

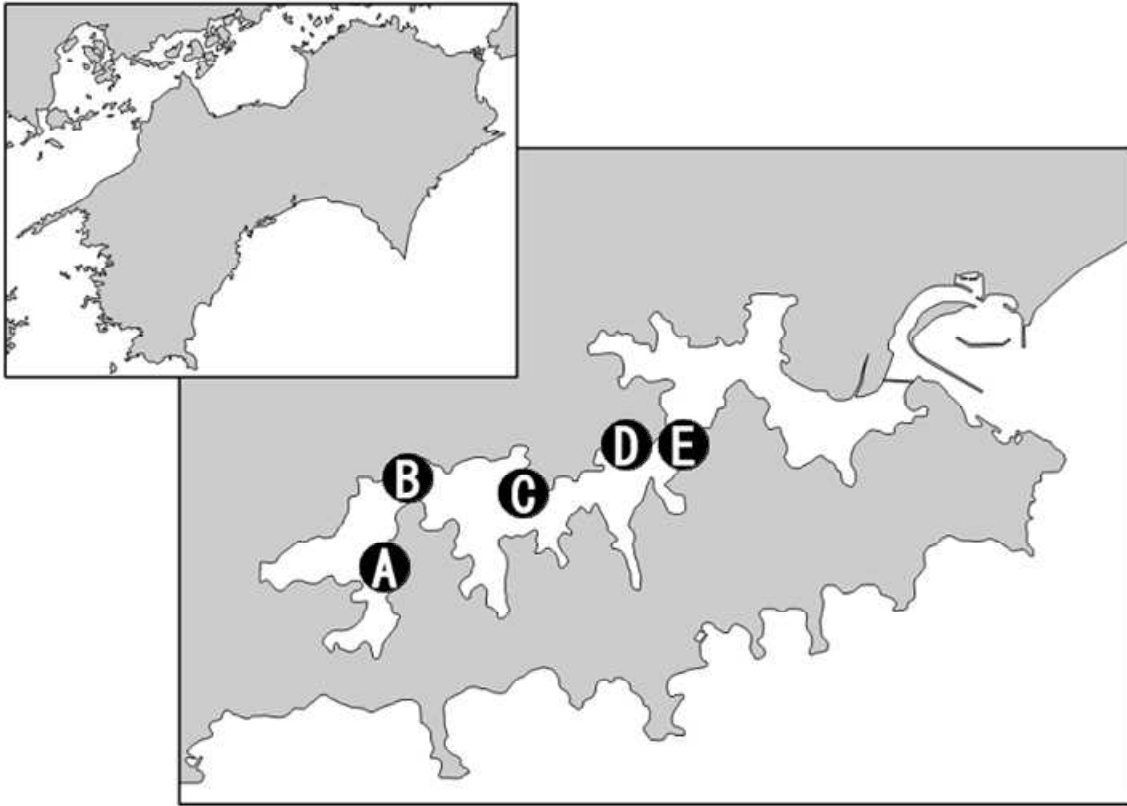
#### 概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で1,825 cells/mL確認されました。シャットネラ属は漁業被害が想定される密度を超えているので、十分注意してください。

浦ノ内湾養殖漁場の10m層及び底層が貧酸素状態となっています。

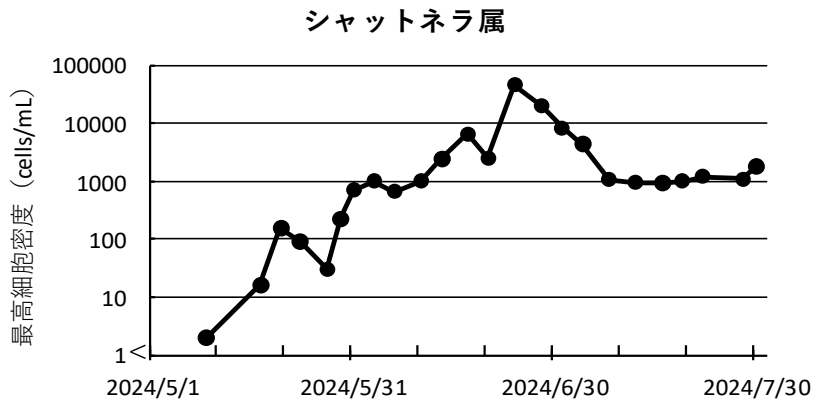
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ 属	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)		
A 鳴無 (2.8m) 【08:14】	0	30.1	27.8	6.9	1	-
	2	28.2	29.8	4.9	225	-
	5	25.9	30.0	0.1	1,825	-
	底層 8	25.3	30.2	0.0	109	-
	0	30.7	28.3	6.4	0	6,600
B 中学校前 (4.5m) 【08:24】	2	29.0	30.0	7.7	1	1,100
	5	26.5	30.4	1.6	2	600
	10	25.5	30.4	0.0	63	60
	底層 10.5	25.3	30.4	0.0	32	80
	0	30.5	28.4	7.2	0	-
C 目ノクソ (4.2m) 【08:40】	2	29.7	29.9	8.1	1	-
	5	27.5	30.7	6.5	0	-
	10	26.1	30.7	0.2	89	-
	底層 14	25.5	30.7	0.0	9	-
	0	30.9	28.4	8.3	1	4,000
D 光松 (4.6m) 【08:52】	2	28.9	30.5	11.3	0	1,800
	5	27.7	31.0	5.3	0	800
	10	26.9	31.0	2.3	0	150
	底層 16	25.2	30.7	0.0	11	40
	0	31.0	28.5	9.0	0	-
E 大鹿 (4.6m) 【09:03】	2	29.5	30.3	13.2	12	-
	5	27.7	31.0	5.9	0	-
	10	26.8	31.0	2.9	45	-
	底層 16	26.2	31.2	0.2	0	-



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿

令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	<b>1,000 cells/mL</b>	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	<b>100 cells/mL</b>	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	<b>100 cells/mL</b>	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	<b>50,000 cells/mL</b>	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	<b>5,000 cells/mL</b>	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	<b>10,000 cells/mL</b>	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	<b>500 cells/mL</b>	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	<b>100 cells/mL</b>	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	<b>1 cell/mL</b>	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。